

**第 35 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」
議事録概要（案）**

◇日時：2022 年 2 月 21 日（月）16:00-18:00

◇場所：Webex 会議

◇出席者（敬称略）：

（委員長）宮野

（副委員長）関村（欠席：岡本）

（幹事）浅沼、阿部、越塚、鈴木、高田(孝)、瀧口、柳原、吉見

（欠席：早瀬、藤田、山本）

（委員）林道、山内、出光、内田、高木、高田(毅)、渡邊、服部、奈良林、竹田、成宮

安部、矢板、川崎、中野、可児（運営タスク）

（欠席：安部田、小西、大隅、加治、川原）

（オブザーバー）石原（エネ庁）、中村（NDF）、今村（IRID）、田中（学会元副会長）

富田（学会事務局）

◇議事

0. 委員長挨拶

宮野委員長より開会のあいさつがあった。

1. 前回第 34 回廃炉検討委員会議事録および議事概要の確認

前回第 34 回廃炉検討委員会議事録案および議事概要案を確認した。

2. 廃炉委の運営

(1)委員リスト

廃炉委 委員リストを確認した。前回からの変更点はない。

(2)分科会委員リスト

分科会委員リストについて確認した。廃棄物検討分科会で 1 名委員の追加があったことが報告された。

(3)廃炉委の体制について

廃炉委の体制と今後の分科会運営について提案があり、承認された。提案内容は以下の 3 点：①廃炉リスク評価分科会（主査：高田(孝)幹事）は安全を含めて検討、②建屋の構造性能評価検討分科会は主査を高田(毅)委員に交代、③廃棄物検討分科会内に WG（主査：川崎委員）を設置して廃棄物処理処分に関して検討。

(4)廃炉貢献賞選考結果と表彰準備

2021 年度廃炉貢献賞の選考結果について説明があった。表彰小委員会で議論し、優秀賞を 2 件とした。受賞案件は下記の通り。

- ・小林亮介氏(日立)：ロボット遠隔作業技術の開発と現場調査への適用
- ・篠崎靖史氏(東京パワーテクノロジー)、高木亮一氏(安藤・間)、増井香織氏(東電 RP)：
石炭灰を有効活用した材料によるメガフロート津波リスク低減対策工事完了

(5)廃炉委書類管理の電子化状況

廃炉委関連資料の電子化と学会サイトへの保存状況について報告があった。廃炉委の公開サイト・非公開サイトに資料を順次掲載、非公開サイトはパスワードを設定して委員のみ閲覧可能とする。

3. シンポジウム等報告・計画

(1)春の年会企画セッション準備状況

春の年会企画セッションの準備状況について報告があり、講演資料の公開版は学会数日前より廃炉委 HP で公開予定であることが説明された。

(2)春の廃炉委シンポジウム延期について

3月に予定していた廃炉委シンポジウムを6月に延期、内容は廃炉委の活動の情報発信とし、パネルディスカッションを計画予定であることが説明された。

(3)FDR2022の延期について

FDR2022の開催時期を、新型コロナの状況を鑑み、10月(10月14日～17日)に延期すること、それに伴いアブストラクト募集期間を5月末まで延長することが説明された。

4. 分科会の活動状況

建屋の構造性能検討分科会、ロボット分科会、廃棄物検討分科会、強度基準検討分科会より活動状況について説明があった。

5. 関係機関から話題提供

○フィルターベントの高度化・空気浄化システムの開発(エネ庁「原子力産業基盤強化事業」による)及び同事業の概要・開発項目・狙いと特色、廃炉委との接点

エネ庁・原子力産業基盤強化事業「フィルターベントの高度化・空気浄化システムの開発」におけるフィルターベントと空気浄化システムの開発状況について紹介があった。

6. その他

・次回の日程は、5/24(火)午後または夕方を候補とする。時間帯は別途調整する。

以上